

# 総括評価表

(学校名：富岡東高等学校羽ノ浦校) (No.3)

		自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画		評 価	学校関係者の意見	
		評価指標		評価指標の達成度		総合評価
Ⅲ 心豊かな人間性を育み、社会に貢献できる看護師の育成をめざす。	《全校レベル》 日常生活における挨拶を励行することで基本的生活習慣の確立を図る。又、望ましい言葉遣いや態度、マナーを身につけさせることで社会性を育む。	① 生徒会や生活委員等による挨拶運動を年間20回実施する。		① 学校評価アンケートの「本校は将来を見据えて、基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている」という項目では生徒及び保護者とも約93%となった。	A  (所見) 学校評価アンケート「教員は一人一人の生徒を理解しようとしている」の項目で、「十分できている」は、教員に対して保護者及び生徒の評価は高い。しかし、「大体できている」では、教員に対して保護者及び生徒の評価は低く出ている。教員間の情報共有を徹底し、生徒理解に努めたい。次に、「人権を尊重するための様々な取組が行われている」の項目では、保護者及び生徒の肯定的評価が約95%となっており、人権教育の取組が十分理解されている。	○様々な配慮を必要とする生徒が増加してきているため、全てを把握することは非常に難しい。アンケートにおいて、羽ノ浦校の先生方の自己評価は、誠実に取り組むが故に、低めに出る傾向が見られる。先生方が努力されていることは、十分に伝わってくるので、自己に対しても適正に評価していただきたい。  ○5年一貫教育において、社会に貢献できる人間性を育てようとする教育活動は、大変評価できるものである。  ○合理的配慮を要する生徒については、十分配慮しながら、継続した指導によって、本人が自己判断できるように育てていきたい。
		② 「服装・マナーアップ週間」を月初めに設定し、挨拶、相手・場に応じた言葉遣い、礼儀・マナーについて自己評価させ、社会的素養を高める。		② 生徒の自己評価として、「適切な言葉遣いができている」という項目では約95%、「校則・マナーを守っている」という項目では約98%という結果となった。		
	《下位組織レベル》 ① 挨拶を励行する。 [生徒 指導課・特別活動課]	③ 各学期毎に個人面談を実施し、生徒学生とコミュニケーションを図ることにより、生活習慣・学習状況等の把握に努める。		③ 学校評価アンケートの「教員は一人一人の生徒を理解しようとしている」という項目では生徒は約70%、保護者は約78%となった。		
	② 身だしなみや、挨拶、相手・場に応じた言葉遣い、礼儀・マナー等について自己評価させ、社会的素養を高める。 [生徒指導課]	④ 人権講演会を年間2回実施し、全教職員が年1回以上参加する。		④ 1学期に性の多様性、2学期には性暴力防止に関する講演会を実施した。		
	③ 個人面談を充実させる。 [担任・学年団]	⑤ 年3回以上いじめ・悩みアンケートを実施し、それを基にスクールカウンセラーと連携し、面談を行うことで速やかに細かい対応をする。		⑤ 学校評価アンケートの「本校は多様な悩みを相談することができる機会を設けている」という項目では生徒は約73%、保護者は約75%となった。		
		活動計画		活動計画の実施状況		
	④ 教育活動全領域において、人権教育の徹底を図る。[生徒指導課・人権教育教育相談課]	① 生徒会や生活委員等を中心に挨拶運動を実施し、挨拶の励行を促す。		① 4・6・9・11・1月の年間21回のあいさつ運動を実施した。		
	⑤ スクールカウンセラーと連携を図り、生徒の悩み等の支援体制を整備する。[生徒指導課・教育相談課]	② TPOに応じた身だしなみや言葉遣いの指導を行う。		② 職員室の入退室時や各行事での所作や言葉遣いなど、臨地実習等でのマナー指導を想定して学校生活の全場面で常時指導を実施した。		
		③ 各学期毎に、個人面談週間を設定し実施する。		③ 各学期に生徒はキャリアパスポートの振り返りシートを記入しており、その内容も含めて個別に面談を実施している。1学期末には全保護者との個人懇談を行った。		
		④ 各種アンケートを実施し、生徒の状況把握に努める。		④ 従来の各学期ごとのいじめアンケートと悩みアンケートを実施することで、生徒の状況把握に努めた。		
		⑤ スクールカウンセラーと協同して、生徒の教育相談体制の充実に努める。		⑤ スクールカウンセラーの利用は21回(1月19日現在)であり、関係諸機関への連携についてもカウンセラーから御助言を頂き、教育相談体制の充実に努めた。		